



馬の学校

馬の学校通信

2001. 12 vol.4



発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6832-8455

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www1.u-netsurf.ne.jp/~mine/



秋のプログラム 活動報告



ファミリープログラム (10/27)

お天気にも恵まれ、ポカポカ陽気の日。

初めはちょっぴり怖くても、ブラシがけをしたり、エサを作ってあげているうちに、すっかり馬とお友達になりました。

乗馬では、お父さん、お母さんの方が夢中になっていたような・・・。



馬も気持ち良さそうです



初めはお母さんと一緒



お昼ごはんはみんなで作りました



みんなで記念撮影

馬とのふれあいプログラム (11/11)

2回目参加の子どもたちもいたので、乗馬ではステップアップを目指しました。「止まれ」「進め」の合図を覚えてもらって、自分で馬を動かすことが出来ました。最後には速歩も体験しました。



ブラシがけも頑張りました



待ちに待った乗馬の時間!

2001年度活動報告

- 3月25～28日 ウマキャンプ (清里)
- 4月28日 ファミリープログラム (和知)
- 5月27日 ファミリープログラム (和知)
- 6月24日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 7月28～31日 ウマキャンプ (清里)
- 8月12～15日 ファミリープログラム (清里)
- 10月27日 ファミリープログラム (和知)
- 11月11日 馬とのふれあいプログラム (服部)

*冬の間はプログラムはお休みとなります。

来年は春休みからスタート予定です。

保護者へのアンケート

ファミリープログラム

- ・乗馬は速歩まで体験できたので、子どものように興奮してしまいました。子どもの積極的な面が見ることができ、うれしかったです。
- ・これからも家族で馬とともにふれあいをもって楽しみたいと思います。

馬とのふれあいプログラム

- ・自分の番がくるのを待つ間、「まだかな」と乗りたい気 持ちを出したのは初めてでした。
- ・乗馬だけでなく、馬のブラシがけ、エサやり、小屋の そうじと、ゆっくり馬とふれあう機会がもて、よかったです。
- ・今回は手綱をひっぱると「馬が止まる」を何度も経験 することができ、前回に比べ進歩がうかがえました。





ありがとう、ジョセフィン



「ホーストレッキングわち」のジョセフィン号が、セン痛(腹痛)による衰弱のため、11月7日14時50分、厩舎前の馬場にて永眠いたしました。

ファミリープログラムでは毎回、クイズにブラシがけに乗馬にと大活躍し、また多くのことを私たちに教えてくれました。ジョセフィンはいつまでも私たちの心の中で、生き続けることでしょう。
ありがとう、ジョセフィン。



おすすめの本



『馬のゴン太旅日記』 島崎保久・原作

関屋敏隆・版画と文 小学館



森大学生と馬のゴン太との冒険の旅記録。旅先での人との出会いが彼らを勇気づけます。

おうまの教室

馬にはどう見えているのかな？

大きな目

馬の目は大きいです。そして横についているので、見える範囲(視野)がとても広いです。約340度見えると言われていて、真後ろ以外はだいたい見えています。

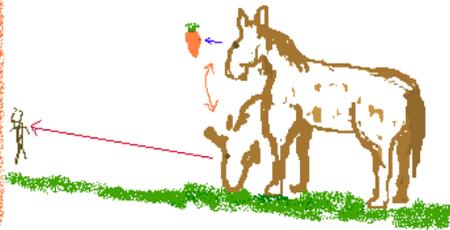


横も後ろも見えるよ！

前しか見えない！

ピント合わせ

馬は遠くを見るときは頭を下げて、近くを見るときは頭を上げて焦点しょうてんを合わせています。馬の様子を観察してみましょう。



馬は体長が長いので、目からお尻までが離れているね。後ろで急に動くときびっくりするから、気をつけてあげよう。



編集後記



いよいよ12月、何かと慌ただしい毎日です。馬の学校では、秋のプログラム2つを無事に終え、春までお休みとなります。馬たちは冬の方が元気なので、いずれは冬のプログラムも行えればと思います。今年は、清里でのファミリープログラムや馬とのふれあいプログラムなど、新しい取り組みを始めることができたことに加え、たくさんの方々にプログラムを手伝っていただけたことを、とても嬉しく思っています。この場を借りて皆さんにお礼申し上げたいと思います。馬の学校をやっていないければ、出逢うことのなかった人たちとの出逢いは、私にとってかけがえのない財産です。1人では出来ないことも、みんなの力を合わせれば可能になることを実感した1年でした。

来年は午年、馬の学校にとっても飛躍の年にしたいと思います。どうぞよいお年をお迎えください。(峯崎 友香理)